

## 質問回答

平成 25 年 8 月 19 日

「スリランカ国国家上下水道公社業務最適化にかかる支援〔有償勘定技術支援〕」

(公告日:平成 25 年 8 月 7 日 / 公告番号:4)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
業務指示書 p.3	第5 1 注)類似業務	類似業務の経験について、「事業会社の業務プロセス改善を目的としたコンサルティング業務」とありますが、本業務が公的機関である上下水道公社の業務最適化を目的としていることを勘案しますと、公的機関の方が業務プロセスや非効率性の課題に類似性を有すると考えます。そこで、「公的機関の業務プロセス改善を目的としたコンサルティング業務」についても類似業務に含まれるという理解でよろしいでしょうか。	はい。これまでの業務との類似性においては、必要とご判断される場合においてプロポーザルで補足いただければと思います。
p.12	2.(3) 期待される成果	成果2では「NWSDB 職員が同業務プロセスに合意する」とあります。このプロセスには貴機構職員にも関与いただけると考えて宜しいでしょうか。	ポイントとなる事項の相談、ミーティングへの参加を通じ、機構職員にもご相談をいただければと思います。
p. 14	5.(6) プロジェクト実施体制(スリランカ側)	スリランカ側実施体制の「業務プロセス改善タスクフォース」の参画メンバーの方々は、どの程度本業務に時間を割くことができる見込みでしょうか。(例:週次の打合せへの参加のみ、日次の打合せに参加可能、執務スペースが至近で随時コミュニケーションが可能、等)	執務スペースは至近となりますので(実施機関での執務を想定しております)、基本的に随時コミュニケーションは取っていただけます。他方、打ち合わせの開催頻度は、週次、週二回程度を想定しておりますが、タスクフォースメンバーにも個別業務がございますので、現地で最終的なご調整をいただけますと幸いです。

p. 14	5.(6) プロジェクト実施体制(スリランカ側)	現状業務の理解のために、NWSDB の職員等の多くの関係者へのヒアリングが不可欠だと考えておりますが、タスクフォース参画メンバー以外へのヒアリングの際は、具体的な人選・日程調整等はタスクフォースメンバーよりサポートいただけると考えてよろしいでしょうか。	左記に関しては、タスクフォースメンバーよりご支援いただけます。
p. 21	6.(6) 提案内容の可視化 - 業務説明会の実施	業務説明会については 2~3 回の実施を想定しているということですが、本説明会については、第二次現地派遣期間 9 日間の間の実施するという理解でよろしいでしょうか。	左記のご理解の通りです。
p. 21	6.(6) 提案内容の可視化 - 業務説明会の実施	業務説明会では、NWSDB との協議・合意を経て最終化された、プロジェクトの成果品について説明を行うということですが、説明会の出席者からの意見等については、最終的な成果品には反映する必要はないということでもよろしいでしょうか。	原則、説明会の前にタスクフォースメンバーと協議をし、最終化した成果品について一般職員への説明会を行う想定でありますが、成果品の品質を担保する上で、有用な意見が出されたコンサルタントにて判断される場合においては、タスクフォースメンバー等と相談の上、成果品に反映する/課題として残すなど、何らかの対応を行っていただければと思います。

以上